

外 郭 団 体

高萩市山林防火普及協会

当市地域の山林面積は、157.02 平方キロメートルと広大であり、市面積の実に 81.1%を占め、市産業の主たる一翼を担っております。

近年この山林には、秋より春にかけて、焚火の不始末、タバコの投げ捨て、子供の火遊び、火入れ等により火災が多く発生しております。従来、山林火災は、年間 1~2 件にとどまっておりますが、過去には、昭和 41 年に 13 件発生（焼損面積 391.5 アール、損害額 500 万円）、昭和 42 年上半期に 9 件発生（焼損面積 410 アール、損害額 300 万円）、また、おもな事例として、昭和 14 年には 500 ヘクタールを焼失、昭和 33 年に 30 ヘクタールを焼失しています。

現在においても、上述と同等、またはそれ以上の山林火災の発生が懸念されております。そこで、山林火災の発生を防ぐため、高萩市消防本部と茨城森林管理署高萩事務所、高萩市森林組合が主体となり、昭和 42 年 8 月 26 日当協会を結成、事業を開始し、現在に至っております。

また、昭和 48 年 11 月 20 日、林野庁長官から森林国営保険事業の発展へ寄与したとして表彰を授与しました。

- | | | |
|---|------|--|
| 1 | 会 員 | 正会員（山林所有者、愛林組合員、部分林組合員）
特別会員（この会の目的及び運営に賛同したもの）
名誉会員（警察署、消防署、森林管理署、農林行政関係者） |
| 2 | 会 費 | 会員の拠出による |
| 3 | 事業内容 | (1) 山林の火災予防の啓蒙宣伝、広報
(2) 山林の名所、要所への火気注意、山火事用心看板の設置
(3) 山林パトロール、火災予防警戒
(4) 山林防火監視員の配置と活用
(5) 消防活動用機械器具（山林防火用）の整備、訓練
(6) 功労者の表彰など
(7) 婦人消防クラブ、緑の少年団への協力 |
| 4 | 会 長 | 細金 秀隆（消防団長） |

高萩市防火管理者協議会

当管内の防火対象事業所の防火管理者は、各々の事業所の防火管理について努力されているが、最近の火災の現況から小都市の事業所といえども安閑としておれない状況にあることにかんがみ防火管理者が互いに防火管理の技術について研究、情報の交換を行うと共に、消防機関と密接なる連絡を保持することが災害の未然防止及び損害を減少するのに必要であるとの見地から昭和 42 年 4 月に当協議会を発足し、事業を開始した。その後、防火管理者資格取得講習会、火災予防運動等を通じて会の進展に努めている。

- | | |
|--------|---|
| 1 会 員 | 109 事業所 |
| 2 事業内容 | (1) 防火管理についての研究、情報交換
(2) 防火管理者資格取得講習会・研修会を実施
(3) 火災予防運動の協力
(4) 各種警報器具、消火器の取扱い、避難誘導についての訓練
(5) 消防機関との連絡
(6) ポスター等の配布
(7) 会員相互の連絡協調
(8) 優良事業所及び優良防火管理者の表彰を行う
(9) 先進地の視察研修を行う
(10) その他この会の運営に必要な事業を行う |
| 3 会 費 | 会員の拠出による |
| 4 会 長 | 石 忠 (高萩ホテルクレスト) |

高萩市危険物安全協会

当会は昭和 34 年 8 月 11 日高萩地方（高萩市及び十王町）危険物安全協会として発足した。その後、消防署の発足した年の昭和 40 年 11 月 16 日、総会を開き県連合会に加入する。平成 16 年 11 月 1 日高萩市・日上市危険物安全協会と改名、その後旧十王町の脱会により、平成 20 年 4 月 1 日に高萩市危険物安全協会と改名し今日に至る。

本協会は会員相互の親睦を図ると共に危険物の取扱管理の向上を図り危険物に基因する災害を防止し、事業の円滑なる発展と社会公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。

- | | |
|--------|---|
| 1 会 員 | 57 事業所 |
| 2 予 算 | 年間 815,000 円（会員の拠出による。平成 24 年 4 月 1 日現在） |
| | 年間 S1 級 34,000 円 S2 級 27,000 円 |
| | S3 級 19,000 円 |
| | A 級 17,000 円 B 級 14,000 円 |
| | C 級 12,000 円 D 級 8,000 円 |
| 3 事業内容 | (1) 危険物の取扱い管理に関する研究
(2) 関係法令の周知徹底
(3) 危険物に基因する災害予防に関する宣伝及び講習会、映画会等の開催
(4) 危険物取扱者のための講習会、講演会等の開催
(5) 関係図書を購入、頒布及び斡旋
(6) 会員の弔慰金並びに餞別金に関する事項
(7) その他本協会の目的を達成するための必要なる事項 |
| 4 会 長 | 山口 直樹（高萩商事株式会社） |

高萩市婦人消防クラブ連絡協議会

当市は面積が広く、旧高岡村は市の中心部から13~21kmの山間部にある。

昭和45年3月、地域総出で山林作業中、子供の火遊びにより41棟が全焼、7棟が半焼するという大火が発生し、甚大な被害を受けた。これに鑑み、火災予防と消防技術の練成のため、下記のとおり婦人消防クラブを結成し、万一に備え消防機械の運用などを消防団員と共に訓練している。またこれらが連絡機関として地区正副会長で高萩市婦人消防クラブ連絡協議会を結成した。

市においては、平成4年度から高萩市婦人消防クラブ連絡協議会に補助金を出して育成を図っている。

1 クラブ別会員数

(H24年3月31日現在)

名 称	設立年月日	会員数
下君田婦人消防クラブ	S46.2.6	35名
上君田婦人消防クラブ	S46.2.14	52名
中戸川婦人消防クラブ	S46.2.13	40名
大能婦人消防クラブ	H元.4.1	20名
計		147名

※平成22年3月8日付け 横川、若栗婦人消防クラブ 廃部

- ### 2 活動内容
- (1) 役員会・総会
 - (2) 視察研修
 - (3) 幼年少年婦人防火大会
 - (4) 一日消防長パレード
 - (5) 高萩市消防出初式
 - (6) 婦人防火指導者研修会
 - (7) 軽可搬消防ポンプ定期点検
 - (8) 高萩市防災訓練

3 会 長 宇野 昌子